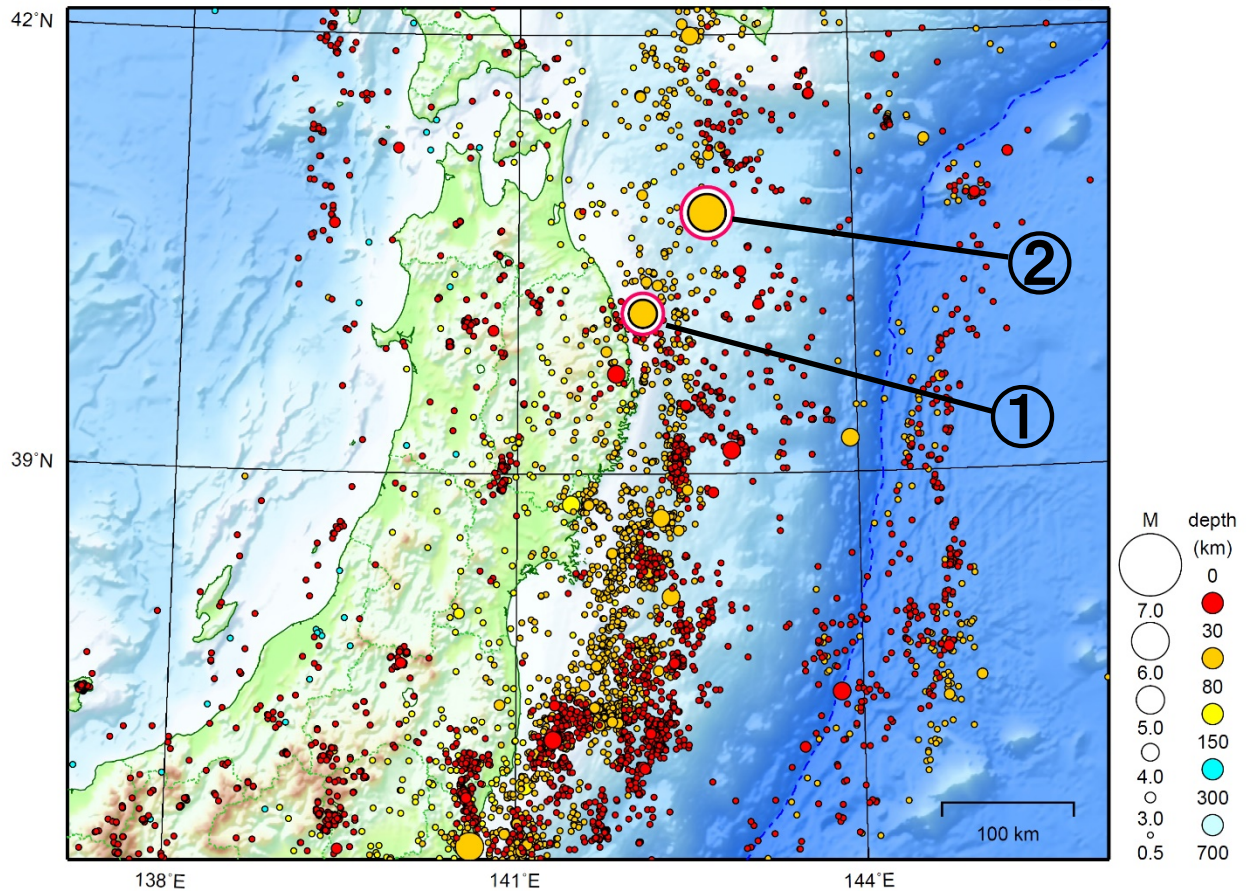


東北地方

2020/12/01 00:00 ~ 2020/12/31 24:00

N=5317



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 12月12日に岩手県沖で M5.6 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。
- ② 12月21日に青森県東方沖で M6.5 の地震（最大震度 5 弱）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

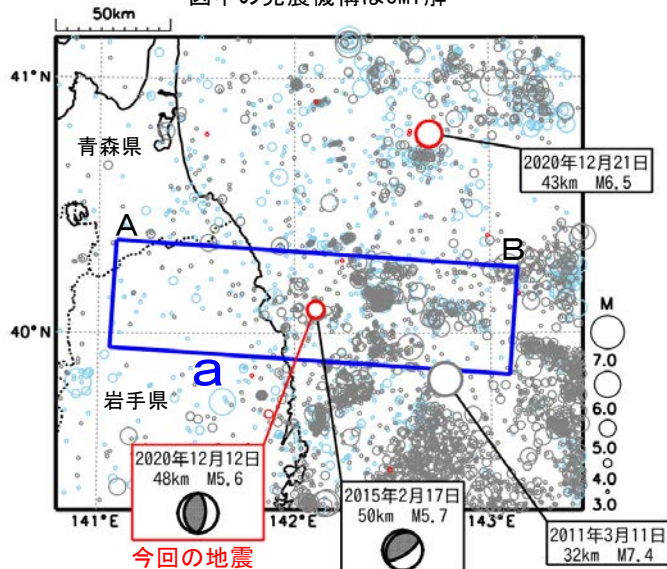
12月12日 岩手県沖の地震

震央分布図

(1997年10月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 3.0$)

2011年3月10日以前の地震を水色、
2011年3月11日以降の地震を灰色、
2020年12月の地震を赤色で表示

図中の発震機構はCMT解

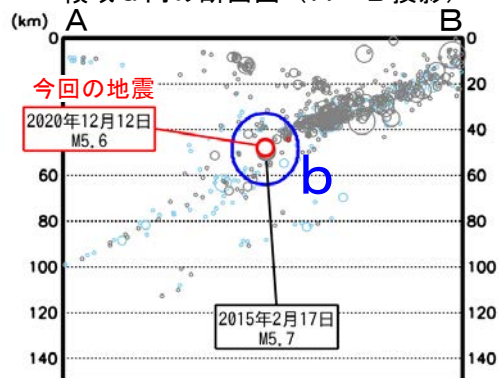


2020年12月12日16時18分に岩手県沖の深さ48kmでM5.6の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

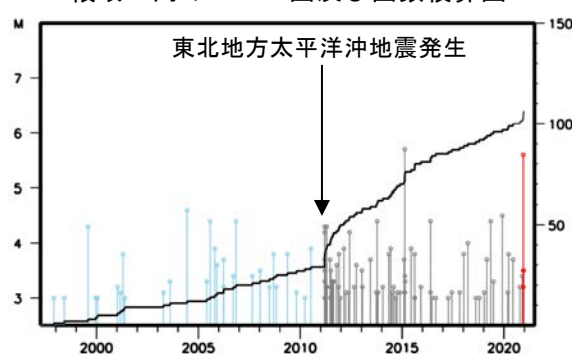
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M4.0以上の地震が時々発生しており、2015年2月17日にはM5.7の地震 (最大震度5強) が発生した。領域bでは、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震の発生数が増加している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震がしばしば発生しており、1995年1月7日には「平成6年 (1994年) 三陸はるか沖地震」の最大余震であるM7.2の地震 (最大震度5) が発生した。

領域a内の断面図 (A-B投影)



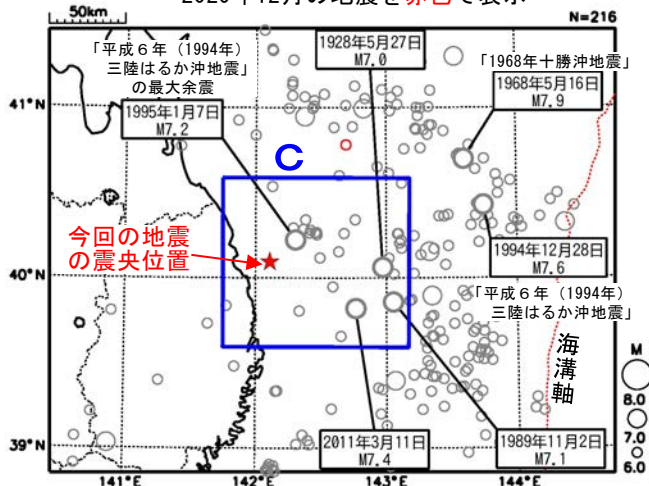
領域b内のM-T図及び回数積算図



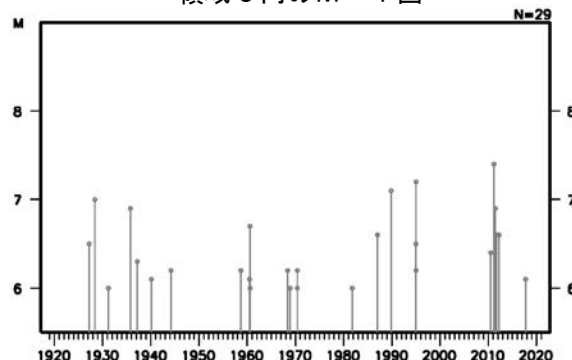
震央分布図

(1919年1月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

2020年12月の地震を赤色で表示

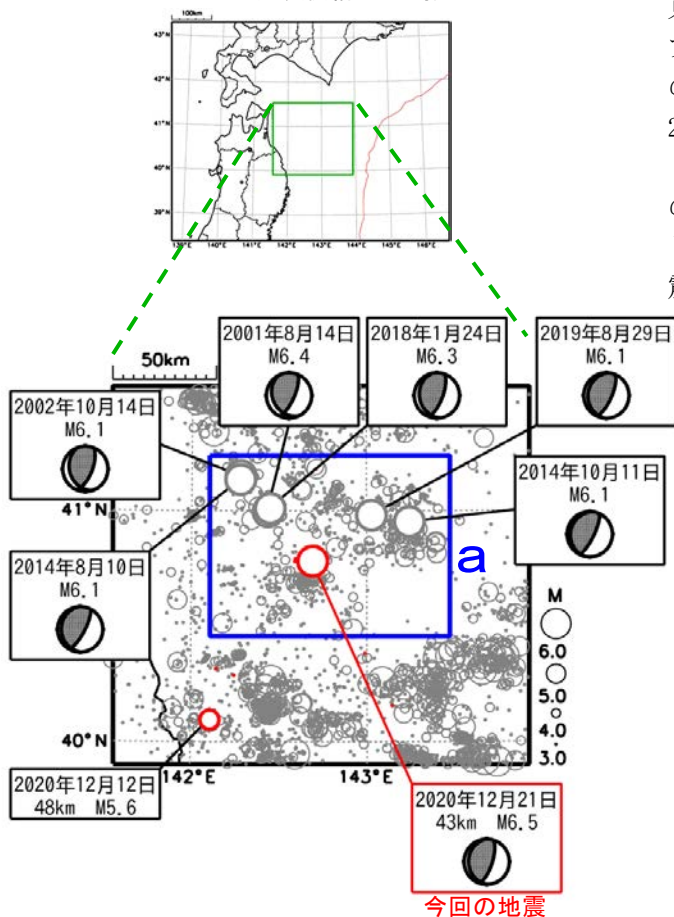


領域c内のM-T図



12月21日 青森県東方沖の地震

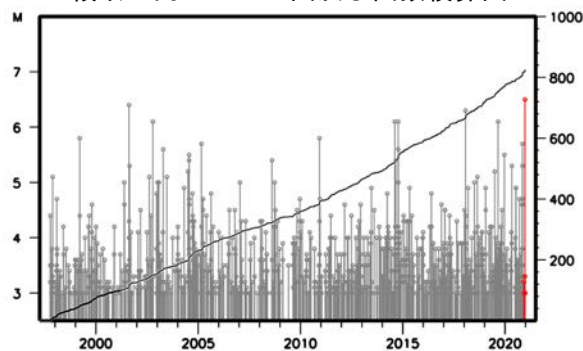
震央分布図
(1997年10月1日～2020年12月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 3.0$)
2020年12月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



2020年12月21日02時23分に青森県東方沖の深さ43kmでM6.5の地震（最大震度5弱）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により軽傷者1人の被害が生じた（12月28日現在、総務省消防庁による）。

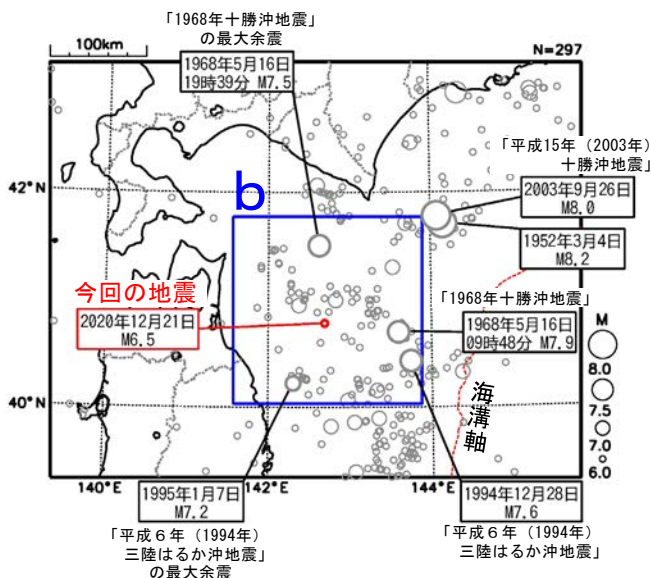
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0以上の地震がしばしば発生しており、そのうちM6.0以上の地震は7回発生している。

領域a内のM-T図及び回数積算図



1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生しており、1968年5月16日09時48分には「1968年十勝沖地震」（M7.9、最大震度5）が発生した。この地震により、青森県八戸〔火力発電所〕で295cm（平常潮位からの高さ）の津波を観測したほか、死者52人、負傷者330人、住家全壊673棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
(1919年1月1日～2020年12月31日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)
2020年12月の地震を赤色で表示



領域b内のM-T図

